

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	実習	
科 目 名		基礎看護学実習Ⅰ		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	45	(1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限		後期	教室名	各実習施設	
担 当 教 員		藤原 祥子 他		実務経験とその関連資格		総合病院にて整形外科・内科病棟看護師長として勤務			
《授業科目における学習内容》									
入院中の対象を取り巻く環境を理解し、対象に応じた基本技術と生活援助を学ぶ。									
《成績評価の方法と基準》									
1)実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2)評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3)実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度									
《使用教材(教科書)及び参考図書》									
看護技術がみえる 系統看護学講座 専門分野2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる 臨床看護技術 ① メディックメディア 看護技術がみえる 臨床看護技術 ② メディックメディア									
《授業外における学習方法》									
実習前の事前課題、看護過程に取り組む									
《履修に当たっての留意点》									
実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。									
授業の方法			内 容				使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容
1 日 目	実 習 形 式	授業を通じての 到達目標	病院・病棟について見学実施したことをまとめることができる。				病院資料	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマにおける 授業予定	病院オリエンテーション 病院見学 病棟オリエンテーション						
2 日 目	実 習 形 式	授業を通じての 到達目標	看護師の援助の実際と安全・安楽についてまとめることができる。				各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマにおける 授業予定	看護師に同行しての援助の見学 病床環境の観察 カンファレンス						
3 ～ 5 日 目	実 習 形 式	授業を通じての 到達目標	患者とのコミュニケーションを図り患者の思いを知る。 患者との会話や観察、記録などから患者の日常生活状況の情報を収集する。				各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマにおける 授業予定	患者とのコミュニケーションコミュニケーション技術 看護師に同行しての援助の見学 環境整備、バイタルサイン測定の実施 援助計画						
6 日 目	実 習 形 式	授業を通じての 到達目標	前回の体験を振り返って留意点・根拠を踏まえて計画を実施することができる。 実施、観察したことを報告連絡相談し振り返ることができる。				各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマにおける 授業予定	環境整備、バイタルサイン測定の実施 援助の見学 最終カンファレンス						